

Q1 銀行・信用金庫 信用組合・JAなどは どんな違いがあるの？



A 都市によっては、銀行・信用金庫・信用組合・JAと相当な数の金融機関が軒を並べています。預金金利は金融機関によって大きな差はありますが、融資の面では業態が分かれていることには大いに意味があります。

もともと制度的には、大企業への融資は主に都市銀行、各都道府県の地場企業への融資は地方銀行が受け持っていました。さらに中小企業への融資は、主に信用金庫・信用組合など協同組織の金融機関に期待されるところが大きかったのです。

業種を絞る金融機関も

JAのように、特定業種を

融資の対象とする金融機関もあります。営業エリアを限定しながら、同時に深く設定することで、資金を必要とする多くの事業者に、融資を行き渡らせることが可能となります。

なお、信用金庫は会員組織であるため、融資を受けるには会員であることが原則とされています。また、信用組合も信用金庫と同様、会員組織であり、預金や融資を利用するには会員であることが原則とされています。ただし、総預金の20%まで員外預金が認められています。

Point

預金金利に大きな差はないが融資先の規模や業態に違いがある

Q2 ネット銀行とはどんな ものなの？ 普通の 銀行と何が違うの？



A 一般の金融機関でも、インターネットバンキングのサービスを提供していれば、お客様はインターネットを通じて、預金の出入れ・振込などの資金移動を行うことができます。

インターネット銀行（以下、ネット銀行）は、インターネットバンキングを専業とし、基本的に店舗を持ちません。店舗を持たないことで相対的の物件費を節減できるため、一般の金融機関よりも相対的に高い利率の預金などを提供できます。

ウェブ上で審査を実施

ただし、店舗がなければ、窓口もATMコーナーもないわけです。入出金には提携し

ている銀行やコンビニなどでのATMを使うことになり、手数料はかかりますが、「月〇回までは振込手数料無料」などの対応を取るネット銀行が多いようです。

またネット銀行でも、カードローンや不動産担保ローンなどを取り扱っています。ウェブ上での仮審査から始まり、必要書類の郵送といったやりとりを経て本審査が行われます。ただし、保証会社との間で抵当権設定契約を締結する場合には、対面での手続きが必要となることには留意が必要です。

Point

ネットバンキングを専業とし、基本的に店舗を持たない点が異なる